

別記様式(第6関係)

		担当課	都市計画課
会 議 の 名 称	令和5年度鴻巣市社会資本総合整備計画事後評価審議会		
開 催 日	令和6年3月27日(水)		
開 催 時 間	9時30分 開会		
開 催 場 所	鴻巣市役所 1001 会議室		
議 長 氏 名	宮永会長		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	田尻委員 川邊委員 寺崎委員 (会長1名、委員3名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	(0名)		
事務局職員 職 氏 名	都市建設部長 三村 〃 副部長 五十嵐 〃 参事兼都市計画課長 山崎 〃 都市計画課副参事 島田 〃 〃 主査 本間 〃 〃 主事 柴田 〃 建築住宅課主幹 原 上下水道部下水道課副参事 関根		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (0名)		
会 議 の 内 容	(議題) 「鴻巣市における循環のみちの実現(防災・安全)(第2期)」 「鴻巣市宅地耐震化推進事業」		
	(決定内容) 「鴻巣市が実施した「鴻巣市における循環のみちの実現(防災・安全)(第2期)」及び 「鴻巣市宅地耐震化推進事業」に対しての鴻巣市の評価等は妥当である。」と具申され た。		
	(説明の概要) 議題について、計画書、現地視察による事業説明および事後評価書の説明を行った。		

	(現地視察) - マンホール蓋改築（中央地内） - 大規模盛土造成地の変動予測調査（馬室地内） (質問事項) 【鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第2期）】 Q. スtockマネジメントの計画策定及び調査の事業費を伺います。 A. スtockマネジメント計画に基づく污水管路施設の点検調査は、令和2年度から令和4年度までの3か年で行い、事業費は、各年約2,500万円でした。 Q. 点検調査をおこなった結果、修繕すべき箇所はあったのでしょうか。 A. 緊急に修繕すべき箇所が数か所あり、それらは「鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第3期）」計画の中で管渠の修繕及び改築を行う予定です。 Q. 点検調査はすべて完了しているのでしょうか。 A. 污水管渠全体の延長は約414kmです。令和2年度は13.7km、令和3年度は20.35km、令和4年度は17.1kmの調査を行い、合計約51.15kmの調査が完了しております。 Q. 第3期計画には引き続きの調査と修繕を組み込んでいる、ということでしょうか。 A. そのとおりです。 【鴻巣市宅地耐震化推進事業】 なし。
配布資料	- 次第 - 委員名簿 - 社会資本総合整備計画 鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第2期） - 社会資本総合整備計画 鴻巣市宅地耐震化推進事業 - 社会資本総合整備計画 事後評価書 鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第2期） - 社会資本総合整備計画 事後評価書 鴻巣市宅地耐震化推進事業 - 鴻巣市社会資本総合整備計画事後評価審議会条例 - 配席表